

# 虚子君へ

夏目漱石

青空文庫



昨日は失敬。こう続けざまに芝居を見るのは私の生涯しやうがいのにお  
 いて未曾有みぞうの珍象ですが、私が、私に固有な因循いんじゆん極まる在来  
 の軌道をぐれ出して、ちよつとでも陽気な御交際おつきあいをするのは全  
 くあなたのせいですよ。それにも飽あき足らず、この上相撲すもうへ連れ  
 て行つて、それから招魂社の能へ誘うと云うんだから、あなたは  
 偉い。実際善人か悪人か分らない。

私は妙な性質たちで、寄席興行よせその他娯楽を目的とする場所へ行つ  
 て坐すわつていると、その間に一種荒涼な感じが起るんです。左右前  
 後の綺羅きらが頭の中へ反映して、心理学にいわゆる反照聯想はんしやうれんそうを  
 起すためかとも思いますが、全くそうでもないらしいです。あん

な場所で周囲の人の顔や様子を見てみると、みんな浮いて見えません。男でも女でもさも得意です。その時ふとこの顔とこの様子から、自分の住む現在の社会が成立しているのだという考がどこからか出て来て急に不安になるのです。そうして早々自分の穴へ帰りたくなるんです。

そのときはまだ好いが、次にきつと自分も人から見れば、やっぱり浮いた顔をして、得意な調子をふりまわしているんだろうと気がつくのです。そうするといかにも自分に対して面目なくなりません。その次には、自分の浮気や得意はこの場限りで、もう少しすると平生の我に帰るのだが、ほかの人ののは、これが常態であつて、家へ帰つても、職務に従事しても、あれでやっているんだと

己惚うぬぼれます。すると自分はどうしてもここにいるべきではないと  
なる。宅うちへ帰つて、一二時間黙坐して見たいなんて気が起ります。

そのくせ周囲の空気には名状すべからざる派出はでな刺激があつて、  
一方からいうと前後を忘れ、自我を没して、この派出な刺激を痛  
切に味いたいのだから困ります。その意味からいうと、美々しい  
女や華きやしや奢な男が、天地神明を忘れて、当面の春色に酔つて、優  
越な都会人種をもつて任ずる様や、あるいは天下をわがもの顔に  
得意にふるまうのが羨うらやましいのです。そうかと云つてこの人造世  
界に向つて猪進ちよしんする勇氣は無論ないです。年来の生活状態から  
して、私は始終しじゆう山の手の竹藪たけやぶの中へ招かれています。のみなら  
ず、この竹藪や書物のなかに、まるで趣の違つた巢を食つて生き

て来たのです。その方が私の性しょうに合う。それから直接に官能に訴える人巧的な刺激を除くと、この巢の方が遙はるかに意義があるように思われるんだから、四辺の空氣に快たんできよく耽溺する事ができないで迷つちまいます。こんな中ちゆうごし腰こしの態度で、芝居を見物する原因は複雑のようですが、その五割乃至七割は舞台で演ずる劇そのものに帰着するのもかも知れません。あの劇がね、私の巢の中の世界とはまるで別物で、しかもあまり上等でないからだろうと思ふんです。こう云うと、役者や見物を一概に罵倒するようではわらないから、ちよつと説明します。

この間帝国座の二宮君が来て、あなたの明治座の所感と云うものを讀んだが、我々の神経は痲痺まひしているせいだか何だかあなた

の口にするような非難はどうてい持ち出す余地がない、芝居になれたものの眼から見ると、筋なぞはどんなに無理だって、妙だつて、まるで忘れて見ていますと云いました。なるほどそれが僕のしろうと素人であるところかも知れないと答えたようなものの、私は二宮君にこんな事を反問しました。僕は芝居は分らないが小説は君よりも分っている。その僕が小説を読んで、第一に感ずるのは大体の筋すなわち構造である。筋なんかどうでも、局部に面白い所があれば構わないと云う気にはとてもなれない。したがって僕がいかほど芝居通になつたところで、全然君と同じ観察点に立つて、芝居を見得るかどうだか疑問であるが、その辺はどうだろう。――話は要領を得ずにすんでしまつたが、私にはやツぱり構造、たと譬

えば波瀾はらん、衝突から起る因果いんがとか、この因果と、あの因果の関係とか云うものが第一番に眼につくんです。ところがそれがあんまり善よくできていないじゃありませんか。あるものは私の理性を愚ぐ弄ろうするためにつつたと思われますね。太功たいこう記などは全くそうだ。あるものは平板のべつ、のつぺらぼうでしょう。楠なんかいは、誰が見たつてのつぺらぼうに違ちがひない。あるものに至つては、私の人情きずつを傷きずつてと思つて故意に残酷こしくに拵こしらへさしたと思われるくらいです。きられ与三郎の——そう、もつともこれは純然たる筋じゃないが、まあ残酷なところがゆすりの原因になつているでしょう。

生しょうがい涯がいの大勢は構かまわないその日その日を面白く暮くして行いけば

好いという人があるように、芝居も大体の構造なんか眼中におく必要がない、局部局部を断片的に賞しょう翫がんすればよいという説——二宮君のような説ですが、まあその説に同意してみたらどんなものでしょう。

それでも賞翫はできますが、それを賞翫するに、局部の内容を賞翫するのと、その内容を発現するために用うる役者の芸を賞翫するのと、ほとんど内容を離れた、内容の発現には比較的効能のない役者の芸を賞翫するのと三つあるようですね。

こうなっても芝居の好きな人は、やっぱり内容に重きをおいていないようじゃありませんか。お富が海へ飛び込むところなどは内容として、私には見るに堪たえない。演やり方が旨うまいとか下ま手ずいとか

云う芸術上の鑑賞の余地がないくらい厭いやです。中村不折が隣りにいて、あるとき芸術上の批評を加えていたのを聞いて実に意外に思いました。ところが芝居の好きな人には私の厭いやだと思ふところははいつこう応こたえないように見えますがどうでしょう。

光秀が妹から刀を受取つて一人で引込むところは、内容として不都合がない。だから芸術上の上手下手を云う余地があつたのです。あすこはあなたがたも旨いと云つた。私も旨いと思ひます。ただし、あすこの芸術は内容を発現するための芸術でしょう。

第三の、内容とは比較的關係のない芸術になると、妙ですな。内容を賞翫して好いんだか、芸術を賞翫して好いんだか分りません。十段目に、初菊が、あんまり聞えぬ光よし様とか何とかい

ところで品しなをしていると、私の隣の柵ますにいた御婆さんが誠実に泣いてたには感心しました。あのくらい単純な内容で泣ける人が今の世にもあるかと思つたらありがたかつた。我々はもつとずつと擦すれてるから始末が悪い。と云つてあすこがつまらないんじゃないやない。かなり面白かつた。けれどもその面白味はあの初菊という女の胴や手が蛇へびのように三味線につれて、ひなひなするから面白かつたんで、人情の発現として泣く了りようけん。簡かんは毛頭もうとうなかつたんです。この点において私と芝居通の諸君と一致しているかどうか伺います。御婆さんに賛成なさるか、私に同意なさるかで事はきまります。

忘れしました。局部内容発現の芸術でもつとも旨かつたのは蠅こうちも

蝠安りやすですな。あれは旨い。本当にできてる。ゆすりをした経験のある男が正業について役者になつたんでなければ、ああは行くまいと思ひました。顔もごろつきそうな顔でしょう。あれが髭ひげを生はやして狩衣かりぎぬを着て楠正成の家来になつてたから驚いた。

次に内容と全く独立した。と云うより内容のない芸術がありませんが、あれは私にも少々分る。鷺さぎむすめ娘がむやみに踊つたり、それから吉原仲の町なかちようへ男性、中性、女性の三性が出て来て各々特色を發揮する運動をやつたりするのはいいですね。運動術としては男性が一番旨うまいんだそうですが、私はあの女性が好きだ、好いかつこう恰好かつこうをしているじゃありませんか。それに色彩が好い。

色彩は私には大變な影響を及ぼします。太功たいこうき記の色彩などは

はなはだ不調和極まって見えます。加藤清正がきんぼたん金 釦のシャツを着ていましたが、おかしかつたですよ。光秀のうちは長屋ですな。あの中にあんなきれい綺麗な着物を着た御嫁さんなんかがいるんだから、もつたいたい。光秀はなぜ百姓みたようにたけやり竹 槍を製造するんですか。

きさらづしおひ木更津汐干の場の色彩はごちやごちやして一見い厭になりました。おなりかいどう御成街道にペンキ屋の長い看板があるから見て、御覧なさい。

楠一族の色彩ははなはだよろしい。第一調和しているようです。正成の細君は品があつてよござんす、あの子も好い。みんな好い色だ。

私の厭なところと、すき好なところを性質から区別して並べて御覧

に入れました。これで私が芝居を見ている時の順慶流の気持が少し説明ができたつもりですが、まだこのほかにもなかなかありません。それは他日御面会の節に譲ります。不折は男性、女性、中性を見ずに帰りましたね。不折は奴やつこ的てきの画が好きなんだろうと思います。凡鳥君によろしく。以上。

六月十二日

# 青空文庫情報

底本：「夏目漱石全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1988（昭和63）年7月26日第1刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版夏目漱石全集」筑摩書房

1971（昭和46）年4月～1972（昭和47）年1月にかけて刊行

入力：柴田卓治

校正：大野晋

1999年6月14日公開

2003年11月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.azora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 虚子君へ

夏目漱石

2020年 7月12日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>